

令和7年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立池雪小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・校内にあるものや人を、繰り返し探したり調べたりすることで、興味をもって調べることができた。
- ・町探検などで地域に出て実際に見たり話を聞いたりすることで、いろいろなものに興味をもち、もっと調べたいという意欲が高まった。
- ・2年生は1年生への学校案内に向けて活動したり、アサガオの種のまき方を教えたりしたことで、相手意識をもち、上学年としての意識が高まった。
- ・ビオトープなどの校内の自然を活用し、自然と触れ合う機会を増やしたことで、生き物や季節の変化を楽しむことができた。
- ・タブレットを使ったり、自分が発表したい方法を選んだりして、自分の思いを伝えることができた。

(2) 課題

- ・気候や行事の関係で活動が制限されたり、計画を見直したりすることになった。それらを考慮して年間計画を立て、関連機関への協力要請を早めに行うようにしたい。
- ・タブレットで調べ活動を行うと、難しい漢字や表現などがあつた。図書資料やインタビューなど、多様な調べ方を取り入れたい。
- ・興味・関心を十分に高めることのできないときがあつた。導入で出会いの場や動機付けを大切にしていける。
- ・年間を通して異学年交流を継続し、自分たちの成長を実感したり説明の仕方を考えたりすることができるよう計画する。

2 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・学校にある自然を利用して、遊びなどを工夫して取り組むようにする。また、どの季節にどのような自然があるか観察することで、それぞれの季節の特徴や違いを見付けるけるようにする。 ・少人数のグループで地域の店や公共施設を見学したり話を聞いたりする活動をすることで、自分たちとの関わりや町の良さに気付くことができるようにする。	・自然の物を利用して遊んだり、触れ合ったりすることで、その面白さや不思議さに気付くようにする。 ・他学年と交流する機会を作り、相手に応じた交流の仕方を工夫できるようにする。 ・生活科の学習を通して気付いたことや分かったことをまとめ、相手に応じた伝え方を工夫して伝えることができるようにする。	・願いや思いから学習を展開し、人やものとする関わりを育てられるようにする。 ・植物を育てたり、生き物を飼育したりする活動を通して、動植物に触れ合う機会を多くし、自然や生き物への親しみをもてるようにする。

